



ステップリムへ被せるようにしてフルリバーに迫る大口径感と足長感を確保したステップオーバーディスク。フローティングさせたスポークエンドは斜めから見た際に足元の深みを強調する立体感となっていく。

ナットホールまで食い込ませて小径化したセンターパートにより、最上級の足長感とツイスト効果を引き出していく。ジースト専用オーナメントはブラックを標準とするが、レッドとシルバーのオプションカラーも用意されている。



## 躍動的な大口径ディスクで決めたUSイメージのスピードスタイル

スポークエンドをステップリムに被せていくステップオーバーディスクによって、足元を魅せる際に要求される深みと足長の双方を高次元で満たしていくのがワークのジーストシリーズ。その最新モデルであるジーストST3は、従来のスタンダードなスポークデザインから一転し、ツイストさせた7本のツインスポークで躍動感を強く放つ1本へと仕上げられてきた。

開口部に繊細な面取りを重ねて引き出す造形美から、ジーストST3はラグジュアリースポーツにこそ相応しいと思われがちだが、実はピュアスポーツの足元にだってドンピシャだ。実際に、K.R.CジャパンのWRX STIを見て分かるように、ボトム主体にエッジを効かせたワンオフエアロでスピード感を強調した

スタイリングに対して、ジーストST3が放つ躍動感と造形美は好スパイスとしてバッチリと機能している。

もともとK.R.Cジャパンは「スポーティの打ち出しにスポークデザインは欠かせないが、マイスターやワークエモーションといった人気ブランドからチョイスすればライバルと被りやすい」という考えからジーストST3へ着眼したそうだが、随所にエッジを効かせたデザインとブラッシュドで「アメ鍛」をイメージさせる足元は、オリジナル調色のグレーボディでUSテイストに寄せてきたスピードスタイルに打って付けた。

また、ハイインセットゆえにストックボディでは深みを引き出しにくいVABの泣き所にしても、実サイズ以上に視覚的な深みを印象付

けるステップオーバーディスクの効果でしっかりカバーされている。

ちなみに、WRX STIのマッチングサイズは8.5J×19+35となっていて、ディスクはセミコンケイブだ。小径センターパートとステップオーバーで、最大限に長さを稼ぎ出したスポークから繰り出していくジーストシリーズ自慢の3Dコンケイブは少し控えめな仕上がりとなるものの、ツイスティなツインスポークで静止状態においても躍動感を放つ大口径ディスクのインパクトがあるため履きこなしに物足りなさは一切感じない。

スピード感や逞しさを犠牲とせず、ピュアスポーツ王道の足元から脱却を図るなら、ジーストST3は最有力候補として注目すべき1本だと言えるだろう。



スポークをツイストして躍動感を生み出すだけではなく、繊細に面取りした開口部で上質な立体的造形へ昇華させてきた。マットなメタルテイストによって気品ある質感をもたらしブラッシュドも美しい。



## WORK ZEAST ST3

◎ ワーク ☎06-6746-2859 <https://www.work-wheels.co.jp>

8.0Jx19	¥74,000 / ¥79,000 / ¥89,000	8.0Jx20	¥84,000 / ¥89,000 / ¥99,000
8.5Jx19	¥75,000 / ¥80,000 / ¥90,000	8.5Jx20	¥85,000 / ¥90,000 / ¥100,000
9.0Jx19	¥76,000 / ¥81,000 / ¥91,000	9.0Jx20	¥86,000 / ¥91,000 / ¥101,000
9.5Jx19	¥77,000 / ¥82,000 / ¥92,000	9.5Jx20	¥87,000 / ¥92,000 / ¥102,000
10.0Jx19	¥78,000 / ¥83,000 / ¥93,000	10.0Jx20	¥88,000 / ¥93,000 / ¥103,000
10.5Jx19	¥79,000 / ¥84,000 / ¥94,000	10.5Jx20	¥89,000 / ¥94,000 / ¥104,000
11.0Jx19	¥80,000 / ¥85,000 / ¥95,000	11.0Jx20	¥90,000 / ¥95,000 / ¥105,000
11.5Jx19	¥81,000 / ¥86,000 / ¥96,000	11.5Jx20	¥91,000 / ¥96,000 / ¥106,000

※価格はディスクカラー【マットブラック/トランスブルーポリッシュ/ブラッシュド】の順  
※価格はすべて税抜き価格になります  
※カスタムオーダープラン：リムアレンジ、セミオーダーカラー、特殊P.C.D.  
※付属品：センターキャップ(ブラック)、エアバルブ



シンプルにまとめたフロントセクションに対し、ワンオフデザインのダクトやディフューザーでスピード感を大きく引き上げてきたリアセクション。ツイストさせたツインスポークをステップオーバーさせたジーストST3は、そうしたスタイリングにも負けることのない深みと躍動感を足元から放っていく。



**遅**しきスポークと深みあるリムのコンビネーションで足元を魅せる、マイスターS1 3ピース。18インチは7~16J、19インチは8~16Jとワイドレンジなサイズ展開を図り、ワイドボディはもちろん、ナローボディにおいても存在感を高められる王道の5本スポークと言えるだろう。

そんなシンプルを突き詰めたデザインにオリジナリティを添えるのは、リムやディスクに用意された多彩なオプションのカラーアレンジだ。そんな足元のイメージを大きく左右するリムアレンジに、新色となるマットアルマイトが登場！ これまでシルバー系でリムの光沢を抑えようとするならばブラッシュドを選択するしかなかったが、マットアルマイトが加わったことで

ヘアラインが一切ない重厚なメタルテストを楽しめるようになったのだ。

さて、そんな注目カラーをいち早く取り込んできたのが、グッドガンインターナショナルの86。マットアルマイトリムとの一体感を高めるために、ディスクカラーはマットシルバーをチョイスし、ピասポルトは引き締め効果もたらずブラックでコーディネート。気になる仕上がりは写真を見ても分かるように、明るさを放ちながらも光沢をしっかり抑えた足元の重厚感で、色鮮やかなボディカラーとともにスピード感あるスタイリングが一段と冴えるものとなっている。

ちなみに、リムアレンジのマットカラーには、つや消しブラックアルマイト、つや消しブロン

ズアルマイトも用意されているが、基本アプローチは淡色系のディスクに合わせてリム深さにインパクトを打ち出す対照色アレンジ。また、濃色ゆえにステップリムなどの造形はどうしても犠牲になってしまう難しさもあった。

しかし、淡色となるマットアルマイトならステップリムの造形を犠牲にせずマットカラーの重厚感を楽しむことができ、今回のような同色系だけでなく対照色まで含めて魅せ方の幅は格段に広がったのだ。

シンプル、そして人気ホイールだからこそ徹底してこだわりたいカラーアレンジ。足元にリンクさせた差し色的にマットシルバーをボディにもあしらうなど、新色を有効利用して愛車を唯一無二の1台に仕上げている。



王道5本スポークの新たな魅せ方は  
マットシルバーの合わせワザ！



フロントはダクト付きフェンダーとしているが、ボディサイズはストック状態。ディスク&リムのマットカラーで芸術的なレイアウトで魅せるエキゾーストや色鮮やかなボディカラーを際立たせつつ、足元の深みもしっかり打ち出している。



ピասポルトのカラーアレンジはブラック、ゴールド、チタンコートから選べるが、マットシルバーにはブラックの引き締め効果が最適だ。マツチング車両のようにホイールナットまで含めて配色していきたい。



ブラッシュドのようなヘアラインはなく、ストレートに重厚感を放つマットアルマイトリム。マットシルバーのディスクカラーとコンビネーションさせれば、リム深さと同系色の相乗効果によって足元のかたまり感は一気に高まっていく。



同色系アレンジを極めるなら、スポークやリムに添えるステッカーも角度によってマットシルバーへ溶け込む白をチョイスすべき。黒などの対照色でステッカーを際立たせるアクセント効果より、足元のかたまり感を突き詰めていきたい。

# WORK MEISTER S1 3PIECE

⑧ ワーク ☎06-6746-2859 <https://www.work-wheels.co.jp>

INCH	SIZE	PRICE(without tax)
18	7.0J~16.0J	¥76,000~¥109,000
19	8.0J~16.0J	¥88,000~¥119,000

※ディスクカラー：ホワイト、シルバー、チタンゴールド、ブラック、パフフィニッシュ  
 ※セミオーダーカラー：ホワイト/シルバー/チタンゴールド/ブラックと同価格  
 ※カスタムオーダープラン：リムアレンジ、セミオーダーカラー、特殊P.C.D.  
 ※付属品：エアバルブ、ディスクステッカー、リムステッカー  
 ※オプションカラー：カラリズM5色、アステリズム2色

